



# 3月伊那市議会定例会

## 一般質問から

令和5年3月伊那市議会定例会の一般質問は、3月7日、8日、9日の3日間にわたって行われ、20人の議員が質問に立ちました。質問と答弁の主な内容をお知らせします。



にへい ひろし  
二瓶 裕史



### スポーツ施設について

**問**

二瓶裕史議員

①武道館の利用料金改定を。部活動の地域移行が進む中、心配の声もある。②弓道場の修繕を。③体育館附属施設のトレーニングルームへ冷暖房設備の設置を。

**答**

市長

①部活動の地域移行に注視し、必要に応じて検討したい。②要望があれば現地確認をし、必要に応じて修繕したい。③エアコン設置の可否を含めて検討したい。

### 職員の副業(兼業)について

**問**

二瓶裕史議員

①地方公務員の兼業許可制度について、公務で得た経験や知識を生かし、地域社会コーディネーターなど公務以外での活動が期待されている。積極的に推進を。②民間で活躍する人材を会計年度任用職員として採用しては。

**答**

市長

①重要なことである。職員にとっても公務に生かすことができる。制度の充実を図りたい。②様々な人材を集めるには有効であり、必要に応じて検討したい。

### プレミアム商品券「第5弾」について

**問**

二瓶裕史議員

発行が期待されているが。

**答**

市長

承知しているが、必要とすることに必要な支援を講じていく。



こいけ たかし  
小池 隆



### 子ども、高齢者にとってやさしい道路整備を

**問**

小池隆議員

舗装修繕における予算増の考えは。

**答**

市長

最小限の経費で効果が得られる事業の実施に取り組む。

**問**

小池隆議員

建設課職員に経験者を雇用しては。

**答**

市長

経験者の採用に努めていく。

### ファミリー・サポート・センターの充実について

**問**

小池隆議員

子育てを孤育てにさせない本事業への期待は。

**答**

市長

人と人とのつながりができ、地域の中で支え合いが発展していくことを望む。

**問**

小池隆議員

小学生利用への補助は。

**答**

市長

子育て支援策全体の中で研究していく。

### 地域で支える小学生児童の見守りサービスについて

**問**

小池隆議員

「子どもを守る安心の家」を見守り、保護者に周知すべきでは。

**答**

教育次長

学校便り、保護者会などで周知していく。

**問**

小池隆議員

児童の登下校時に散歩時間を合わせるなど、地域の方で児童の安全を守ることを提案してみても。

**答**

教育次長

各学校のよりよい教育環境推進協議会などで考える機会を持つよう、学校に依頼していく。



たばた まさとし  
田畑 正敏



### 南アルプスジオパークの取組みと課題解決に向けて

**問**

田畑正敏議員

ジオパークの魅力をもっと市民にどう伝えていくのか。

**答**

市長

写真コンテンツやジオパークを紹介するPR動

画を作成し、認知度を上げ、その魅力や面白さを分かりやすく伝えていく必要がある。

**問**

田畑正敏議員

拠点施設の整備、充実に向けた取組みとして、ジオラマ(立体模型)設置を提案するが。

**答**

市長

ジオパークの地形や特徴を立体的に伝える方法として、映像による3次元の空間体験活用も含め、検討していきたい。

### 移住・定住促進施策と移住者向け住宅について

**問**

田畑正敏議員

市の移住窓口で行っている職業斡旋の機能と効果については。

**答**

市長

市内や上伊那広域連合との連携により、移住者の経験やスキルを踏まえ、地元企業に12人紹介し、5人が就業している。

**問**

田畑正敏議員

移住希望が多い新山地域に移住者向け住宅の整備をお願いしたいが。

**答**

市長

用地の確保、ライフラインの確保などの課題もある。当面は、市営住宅の活用なども考える中で総合的に研究していきたい。



### 「家庭用防犯カメラ設置補助」について

**問** 高橋明星議員 全国では毎年1千人を超える9歳

以下の子どもが行方不明になっている。伊那市でも窃盗などの犯罪が少なくない。伊那市が安心安全に暮らせる街になることは、子育て支援にも大きく寄与する。家庭用防犯カメラの設置購入費の補助をお願いしたい。

**答** 市長 自宅の映像だけでなく道路もカバーするものであれば、犯罪の抑止、解決に寄与すると思われる。防犯意識の高まりなどを見ながら検討していく。

### 「学校給食におけるスプーン使用」について

**問** 高橋明星議員 市内小中学校において給食のカレー

を箸で食べている学校がある。子どもたちの声に耳を傾けられる伊那市であって欲しい。スプーンの導入を願う。

**答** 市長 カレーはスプーンで食べるといのが一般的な思い。導入が可能な学校には早期に導入できるようにする。

**教育長** 子どもの願いや思いを受け止める。子どもが先生に伝えたいことを伝え、子どもたちの声から改善につなげられる事柄を拾っていくことが大事とされている。

### 「生誕150年記念池上秀畝展」について

**問** 高橋明星議員 令和6年3月から企画されている秀畝展について、18歳未満の子ども

と同伴する保護者の入館料を無料にしてはどうか。

**答** 教育長 無料にすることで入館者数の増加が期待できるので、検討したい。



### 学校給食の今後について

**問** 宮原英幸議員 手良給食施設計画に当たり、新山モ

デルの課題検討は十分なされた

か。また、従事者の処遇や配置の改善検討はどうか。

**答** 教育長 新山は市内初の保小共同調理場であり、提供時間の差やおやつの問題は解消の方向で、手良の運搬手段などは検討中である。平均3%の処遇改善を行い、配置は基準を上回るとは言い、実情に合致させるべく改善を進める。

**問** 宮原英幸議員 少子化で学校統廃合など将来のあり方検討を進めるべきでは。

**答** 市長 学校は地域の中心であり、今は考えていないが、社会情勢を見つ、まず総合教育会議などで議論し、必要ならば協議検討もしたい。

### 就学時健康診断の実施課題について

**問** 宮原英幸議員 本来、教育委員会が主体的に進めるべきで、学校側の負担が大き

い。改善すべきではないか。

**答** 教育長 学校の開放、学校医との調整など負担は承知しているが、各学校がそれぞれの日程で対応することが適切と考える。市は養護スタッフ派遣などで負担軽減を継続する。

小規模校では同じ学校医の場合、共同実施している例があり、今後の参考とする。



### 伊那市に児童相談所の誘致を

**問** 伊藤のり子議員 子育て世帯訪問支援員をどのくらいの頻度で派遣しているか。

**答** 教育長 1日2時間、週2回、11家庭を支援している。

**問** 伊藤のり子議員 児童相談所を伊那市に誘致する件の進捗状況は。

**答** 市長 県の具体的な動きはない。機会を捉えて、再度要望していく考えである。

### 障害者を市の審議委員に選任を

**問** 伊藤のり子議員 各種審議会に障害のある人を加えてはどうか。

**答** 市長 目的に合った人を選任することが重要である。障害者の団体と話をしている。

### 「書かない窓口」実現へ

**問** 伊藤のり子議員 マイナンバーカードを活用して、複数の申請書類に自動で転記できるシステムの導入を。

**答** 企画部長 令和7年度までの基幹システムの更新に合わせて検討していきたい。



### 飼い主のいない猫、その現状と伊那市の取組みについて

**問** 原一馬議員 近年、猫の苦情が急増している。高齢化が進む中山間地域を含め、市内全域で頭数の増える猫について、高齢者からの相談が多い。

捕獲して不妊去勢手術を行い、元に戻し、猫と共に生きていける取組み(さくら猫TNR、地域猫)は、全国各地で広がっている。伊那市の取組みは。

**答** 市民生活部長 現在、伊那保健所では、地域猫活動

のロードマップ案を検討している。

**問** 原一馬議員 不妊手術に対する助成については。

**答** 市長 県内28の市町村が助成事業を行っている。充分な状況把握を行い、助成制度について検討していく。

**需要喚起の経済対策、プレミアム商品券発行について**

**問** 原一馬議員 物価上昇で大変厳しい状況下、消費者も商工業者もほとんどの方が支持しているプレミアム商品券。

地域経済の起爆剤として、「第5弾」の発行をお願いしたい。

**答** 市長 長期にわたるコロナ禍に加え、様々な物の値上がりが続き、市民生活、事業者の経営に大変大きな影響を及ぼしている。すぐに検討する段階にはないが、地域経済の回復状況や国の支援などの動向を注視していく。



ちあき からさわ 唐澤 千明



**令和5年度当初予算について**

**問** 唐澤千明議員 「伊那に生きる、ここに暮らし続ける」というビジョンを実感できるまちづくりに向けて、どのような未来を描いているか。

**答** 市長 一次産業の振興をしっかりと行い、市内での食料と水とエネルギーの自立をしていく。環境に配慮し、観光誘客や移住定住の促進から賑わいを図る。特色あるまちなかの活性化を推進していく。

**伊那市の林業振興の取組みについて**

**問** 唐澤千明議員 ①市が整備する公共建築物について、林業の産業化に向け可能な限り木造にすべきだが考えを。②森林経営管理制度で市による主体的整備をする中、関わる職員の増員も考慮する必要があるが考えを。③持続可能な地域社会を構築するための産学官連携拠点を施設の役割と目的は。

**答** 市長 ①地域材利活用を積極的に取り組み、中高層建築物の木質化など新しい技術を研究していきたい。②森林経営が可能で森林から意向調査をし、森林所有者と林業事業体を

つなげて整備していく。人員については、検討する。③農林業へ力を入れる中、全国から多様な人材を確保して、地方から日本を支える場所にしたい。



たかはし すがた 高橋 姿



**自治会とPTAに改革を！**

**問** 高橋姿議員 行政による自治会とPTAの業務量が過大にならないようなガイドラインの作成は可能か。

**答** 市長 役員のなり手不足、行事、会議などの負担が多い、仕事をしながら業務をこなすことは大変だ、という声は聞いている。各区などに対して自治会に関するアンケートを実施しており、課題や工夫、生活改善の取組状況などに回答をいただく。それに基づき、必要性があれば、ガイドラインの設定を検討していきたい。

**教育長** PTAは、保護者と教職員によって構成されている。運営などは、それぞれのPTAで十分に議論し、考え合っていくものと考える。

ガイドラインの策定など外部からの意見は控えたい。

**問** 高橋姿議員 自治会費は他県と比べて極めて高い。市内の地域差もある。最高5万円、最低6千円で、平均は1万7千円程。負担の改善は。

**答** 市長 自治会費などの現状をまとめ、運営見直しの参考としてもらう。

**問** 高橋姿議員 自治会とPTA活動への参加は、各家庭の事情も考慮し、任意とすべきではないか。

**答** 市長 加入は任意だが、自治会活動があるからこそ暮らしの環境が維持されている。

**教育長** 負担感はあるが、やってみて良かったという声も聞く。



こばやし まゆみ 小林 眞由美



**まちづくりの推進について**

**問** 小林眞由美議員 地域づくり、まちづくりの理解者、協力者を増やし、活性化を。

**答** 市長 総合計画や都市計画マスタープランなどの目

標達成に向けて策定された事業の説明に加え、講演会の開催やキャリア教育の推進、集落支援員の活動などを通じて、担い手人材の育成や郷土意識の醸成を図るとともに、地域の活性化に向けた取組を支援することにより、地域力の向上を図りたい。

**問** 福祉施策について

**問** 小林眞由美議員 ひきこもり、8050への理解を深める集いで、安心安全な温かい地域づくりを。

**答** 市長 令和4年12月に、当事者や家族の方々が気軽に相談できる「ひきこもり相談窓口」を開設した。ひきこもりや8050も含めて、課題を抱えた方々が気軽に相談できる体制を整えることが大切であり、一般市民向け講演会、当事者の方や家族が集える研修会を企画したい。

**問** 小林眞由美議員 フレイル予防の取組みを。

**答** 市長 高齢者の健康づくりに、脳いきいき教室や栄養指導のほか、短期集中体操教室などを開催している。今後、地域の小さい単位での通いの場で介護予防ができるように、シルバーハピリ指導士養成事業を進める。



**前原のメガソーラー計画と伊那市太陽光発電設備の設置等に関する条例について**

**問** 柳川 広美議員 ①この事業者の下請け会社は、道路側溝の自営工事で申請と違う工事をした。また、側溝工事に必要な書類の提出の際に、地元区の同意について虚偽の説明をしたのは本当か。②このような事業者に市はどう対応するのか。③側溝の完了検査をしないのに、敷地の排水路を道路側溝につないだのは本当か。

**答** 建設部長 ①側溝の工事変更許可は出していない。業者からは、地元区の同意を得ていると報告を受けたが、地元説明会で同意がないことが判明した。

**市民生活部長** ②太陽光発電設備の設置等に関する条例第18条の規定に、市長が事業を許可しない者として「太陽光発電設備設置事業に関して不正又は不誠実な行為をするおそれがある」と認められた者がある。顧問弁

護士と相談して対応する。③当該事業者は、林地開発許可により敷地内に整備した調整池からの排水路を、道路側溝の占用許可がないのに市道側溝に接続した。この件も、顧問弁護士に相談し対応する。



**ふるさと納税について**

**問** 唐木拓議員 伊那市民が他の自治体へふるさと納税した額はどのくらいで、市民税への影響はどのくらいか。

**答** 市民生活部長 令和3年分における他の自治体へのふるさと納税額は約1億8千万円、市民税の控除額は約8千万円である。

**問** 唐木拓議員 一方で、多くのふるさと納税を市外に住所のある方からいただいているが、今年度のふるさと納税の受入額はどのくらいの予想か。

**答** 企画部長 25億円を超える予測である。

**問** 唐木拓議員 手数料が高いポータルサイトを使い続けるか、県の方針にならって直営サイトを立ち上げるか、今後の方針は。

**答** 市長 直営サイトは手数料を抑えられるが、民間のポータルサイトが充実しているため、寄附者を直営サイトに誘導するのは難しく、現状のやり方を継続していく予定。

**問** 唐木拓議員 令和5年度は、どのくらいの受入額を見込んでいるか。

**答** 市長 令和4年度当初予算と同等の23億円を計上しているが、この額を上回る取組みをしていく。



**人口減少・少子化対策に関わる施策についての新たな提案**

**問** 野口輝雄議員 今後の人口減、少子化対策について以下のように提案をする。①今後は、伊那市出身の大学生のUターンのための施策をより強力にすることが必要ではないか。②少子化

対策のための「いなし出会いサポートセンター」の機能強化が必要ではないか。③子育て世代の金銭的不安解消のために、段階的に給食費を無償化することが必要ではないか。④月単位で支給する「子育て生活支援金(仮称)」などの新設が必要ではないか。

**松食い虫対策と脱炭素社会進展について**

**問** 湯澤武議員 松食い虫対策は。

**答** 市長 「樹種転換」で、松林を囲い込み、伊那松を守る。

**問** 湯澤武議員 市が検討している「バイオマス発電所」の規模は。

**答** 市長 活用しやすい45キロワットアワー2基を、民間と市で検討したい。

**問** 高校給付型奨学金基金と大学奨学金返還支援について

**問** 湯澤武議員 ひとり親家庭で児童扶養手当受給対象の中3生の高校進学支援金について、今後も継続を。

**答** 市長 家庭環境に左右されない進学支援を継続する。

**問** 湯澤武議員 奨学金返還支援制度を県も開始する。市の支援制度とともに積極的な広報を。

**答** 商工観光部長 奨学金返還支援制度は、企業人材の確保と移住定住促進に有効である。市としても情報発信を充実していく。



**LGBTQ+ 性的少数者の人権と共生社会実現について**

**問** 湯澤武議員 同性パートナーシップ制度の導入を。

**答** 市長 現在、県が構築を進めている制度の下で提供可能な行政サービスを検討している。



みついし かよ  
三石 佳代



**「税」に替わる伊那市独自の  
資金調達に対する提案**

**問** 三石佳代議員 様々な支援が求められているが、資金がなければ何もできない。まず資金をどう調達するか決めるべき。お金を使わずに儲かる市独自の宝くじ発売を提案する。

宝くじ発売は、法律で都道府県と人口50万人以上の指定都市しか通常認められないが、税金は同様に納めており、不公平極まりない。国へ説明を求めるときだと思いが、市長の考えを伺いたい。

**答** 市長 財源確保は極めて重要であるが、伊那市独自の宝くじの販売は、法律上許可を得ることができない。法規制緩和の特区申請の方法もあるが、多くの市町村が販売を検討して大きな混乱を招くことが予想される。実施困難と予想する。宝くじの販売よりも、ふるさと納税制度の寄附先を選ばれるように特産品の充実を図る方が得策である。



みさわ としあき  
三澤 俊明



**租税教育の現状について**

**問** 三澤俊明議員 租税教育の重要性について伊那市教育委員会ではどのように捉えているか。

**答** 教育長 租税教育は、次の時代を担う児童や生徒が税の役割を正しく理解して、社会や国のあり方を主体的に考えることにつながる重要な教育である。

**問** 三澤俊明議員 市内の、特に中学校での租税教室がやや不調となっているが、解決策はあるか。

**答** 教育長 教科担任が不在となる時間に実施するなど、工夫をして取り組むことなど、引き続き校長会で各学校に依頼していく。

**無人VTO「K-RACER」の実証実験について**

**問** 三澤俊明議員 川崎重工と共同で進める同事業につ

いて、予定では令和5年から山小屋への物資輸送の能力実証実験を始めるとなっていたが、現在の進捗状況はどうか。

**答** 市長 現在のところ、関係機関や関連企業の協力ですべて順調に進んでいる。令和5年度は通信環境の調査により判明した山岳地帯の電波対策と実証飛行に着手する予定である。実験には、新たに川崎重工が開発中の200kgまで運搬可能な「K-RACER-X2」を利用する。



よしだ ひろゆき  
吉田 浩之



**児童数の減少に伴う  
小学校のあり方について**

**問** 吉田浩之議員 小規模校のメリットは何か。また、標準規模学校と同じような教育を行うための工夫は。

**答** 教育長 きめ細かな指導や異年齢の学習活動が組みやすいなどのメリットがある。また、学校ごとに特色ある活動を行っている。

**問** 吉田浩之議員 児童数が減少している中で、学校のあり方の研究の場を設けてはどうか。

**答** 教育長 小規模校の魅力ある学校作りについて検討し、総合教育会議で意見交換をしたい。

**問** 吉田浩之議員 小学校のあり方や小規模校の特徴に対する市長の考えは。

**答** 市長 伊那市は、教育に最も力を入れている。新しい技術や小規模特認校制度の導入などにより、特色ある教育を行っている。

**高校再編に伴う保護者への情報提供について**

**問** 吉田浩之議員 伊那北と伊那弥生ヶ丘の両高校の統合による新校について、創設時に高校1年になる現在の小学4年生や保護者に情報提供をすべきと考えるがどうか。

**答** 教育長 これまでの経過が県ホームページに載っており、そのアドレスを伝えていく。



いけがみ けん  
池上 謙



**国道152号大明神地籍の常盤橋架け替えについて**

**問** 池上謙議員 国道152号は、長谷地区住民の生活基盤道路であり、また南アルプス観光ルートや美和ダム、三峰川からの骨材搬出道路ともなっており、大型ダンプカーなどの往来も頻繁である。しかし、大明神地籍の常盤橋は、幅員が6mと狭く、大型貨物のすれ違いが非常に危険な状態である。

さらに、大明神地籍は縦断勾配がきつく、冬季間のスリップ事故が毎年多発している。今年1月末に、全国を襲った最強寒波が到来した時は、事故による車の立ち往生により長谷地区が孤立してしました。

戸草ダムの建設再開が望まれる今日、一刻も早く「新常盤大橋ルート」として、縦断勾配の解消と幅が狭い橋の架け替えが必要と考えるが市長の考えは。

**答** 市長 国道152号の道路管理者である伊那建設事務所には、地域住民が安心で安全な通行ができるよう、適切な対応をお願いしている。現在整備促進期成同盟会では、高遠町藤沢地籍荒町工区が事業化されている。

常盤橋の架替え要望は、まずは、長谷の地域協議会でご検討いただき、地域要望として地元の意向としてまとめていただく必要がある。



しのづか 篠塚 みどり



**「こども家庭庁」設立による伊那市での取組みについて**

**問** 篠塚みどり議員 「こども家庭庁」設立による伊那市での取組みは。

**答** 市長 令和5年4月から、教育委員会内に子ども相談室を設置する。子どもに関する部署の連携をさらに進め、「こども家庭センター」の設置など組織体制の強化について検討していく。

**インフルエンザワクチン接種料金の補助拡大について**

**問** 篠塚みどり議員 3歳から12歳までなど、子どものワクチン接種料金の補助は。

**答** 市長 医師会などの関係機関と相談し、慎重に研究していく。

**災害時障がい者等支援バンドナ(SOSバンドナ)配布について**

**問** 篠塚みどり議員 災害時に二目で分かり、支援につながるSOSバンドナの配布は。

**答** 市長 今年度、21か所ある指定避難所へ各5枚程度配布する。今後、市内31か所の福祉避難所にも配布し、活用できるようにしていく。



いいじま みつとよ 飯島 光豊



**伊那市の危険な通学路および生活道路について**

**問** 飯島光豊議員 市の通学路や生活道路対策に国などから高い評価があるが。

**答** 市長 春富中や市民の取り組みは好事例。市は今後も継続し、支援する。

**自衛官等募集事務に係る対象者情報の除外申請について**

**問** 飯島光豊議員 ①市長は自衛隊に、18歳から22歳までの市民全員の名簿をこっそり提供しているが、判断に誤りがある。

②名簿の提供を希望しない人は、除外申請ができるように周知を。

**答** 市長 ①伊那市個人情報保護条例の規定に基づいて提供した。

**総務部長** ①住民基本台帳法に基づく請求であれば提供できないが、自衛隊法の請求で判断した。

**危機管理監** ②除外申請については、周知方法も含めて検討していきたい。

**性的少数者の人権および市独自のパートナーシップ認証制度創設について**

**問** 飯島光豊議員 市パートナーシップ制度と当事者による相談窓口の創設を。

**答** 文化スポーツ部長 県制度の下での対応を検討しており、市独自制度の創設や制度に特化した相談窓口の設置予定はない。

## お知らせ

### 請願・陳情

請願・陳情は、原則として定例会開会前に開催される議会運営委員会の前日正午までに提出されたものを、その定例会で審査します。

ご提出いただきました請願・陳情は、定例会本会議で委員会へ付託され、審査を行います。本会議での委員長報告後、採決します。

次回6月定例会審査の受理期限は、5月25日正午です。(期限は、変更となる場合もあります。議会事務局へご確認の上ご提出ください。)

### 傍聴にお越しく下さい

市議会とは、どなたでもお気軽に傍聴することができます。是非お越しく下さい。

### 議会で継

議会で継は、伊那ケーブルテレビ「伊那市チャンネル」で放送しています。再放送も行っていますので是非ご覧ください。

伊那市チャンネルは、デジタル11チャンネルです。

### QRコードについて

議員の写真下にあるQRコードを読み取ると、一般質問の動画が閲覧できます。ご活用ください。

\*「QRコード」は(株)デンソーウエーブの登録商標です。  
次回6月定例会の詳しい放送予定は、「市報いな」6月号をご覧ください。



# 伊那市議会 令和4年度政務活動費について報告します

政務活動費とは、地方自治法第100条第14項の規定に基づいて、議員の調査研究その他の活動に役立てるため、必要な費用の一部を会派に対し交付するものです。

各会派では、年度末に政務活動費の収支を議長に報告し、残額は市に返還します。収支報告書と領収書は、議会事務局(市役所2階)で閲覧することができます。

(金額の単位:円)

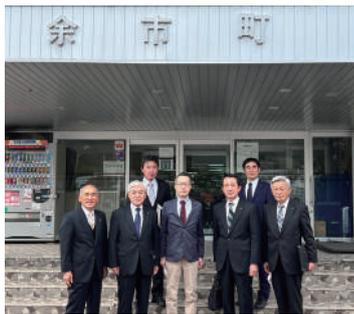
会派名	人数	年間支給額 (12万円×人数)	利息 (収入)	支出額計	支出額の内訳			残額 (返還額)
					調査費等	広報費	資料作成費 または 資料購入費	
平成クラブ	6	720,000	4	720,004	720,004			0
素心クラブ	5	600,000	3	382,174	156,975	202,539	22,660	217,829
令和クラブ	3	360,000	2	232,680	232,680			127,322
日本共産党	2	240,000	1	240,001		240,001		0
公明党	2	240,000	1	233,020	157,120	75,900		6,981
新政クラブ	2	240,000	1	117,707	62,789		54,918	122,294
日本維新の会	1	120,000		120,000		120,000		0
合計	21	2,520,000	12	2,045,586	1,329,568	638,440	77,578	474,426

## 平成クラブ

田畑正敏・宮原英幸・原一馬  
白鳥敏明・池上謙・唐木拓

平成クラブでは令和4年10月31日から11月2日までの日程で北海道小樽市、余市町、室蘭市、苫小牧市への行政視察を行いました。

ワイン特区6次産業化について、空き家対策事業について、地域完結型ポイントを活用した地域活性化についてなど、それぞれの市町が地域の課題と向き合い積極的に取り組んでいるとの説明を受け、質疑する中で認識を新たにしてきました。



視察先の余市町役場にて

## 素心クラブ

伊藤のり子・吉田浩之  
高橋姿・高橋明星・小池隆

「新人発進、5人でGO!」  
「素心」とは、二心なき潔白な心の意。様々な経験のある個性の光る新人ばかりで結成した会派です。対等に議論を重ね、市民からの声を聞き、伊那市発展のために力を発揮できるように次のような活動をしました。

- ◇会派勉強会・意見交換会(毎月)
- ◇素心クラブ視察研修  
(新潟県十日町市・津南町)
- ◇会報発行(3月)



## 令和クラブ

三澤俊明・野口輝雄・小林真由美

令和クラブでは、昨年昨年とコロナの影響で中止を余儀なくされていた行政視察に、会派結成以来3年目にして初めて行くことが実現し、大いに知見を広めることが出来ました。  
また3人だけのこぢんまりとした会派の特徴を活かし、コロナ禍でも非対面で済むオンライン会議を頻繁に開き、各自の議員活動の報告や議会時の議案、請願・陳情、一般質問についても協議しました。



視察先の柏崎市議場にて

## 日本共産党伊那市議団

飯島光豊・柳川広美

日本共産党伊那市議団は、市民の皆さまの税金による政務活動費を有効に活用するために、広報費で「議員団だより」を発行し、全戸配布または新聞折り込みで周知に努めました。

また、コロナ禍でのオンライン勉強会などに参加しました。

皆さまからは「学校給食費無料化実現を」「ぐるっとタクシーや公共交通を使いやすく」などの要望が寄せられ、議員団は声を市政に届けました。



への感謝や「防災ホームページの使いやすさ」への期待などの意見をいただき、一般質問に生かすことができました。



## 公明党

湯澤武・篠塚みどり

会派「公明党」は政務活動費を

- ①令和クラブとの会派視察研修
  - ②議会報告の会報の発行
- に活用させていただきました。

視察で学んだ印象的なことは、柏崎市の「ひきこもり支援センター」での、スタッフの専門性の高さ、一人ひとりを大切にされる情熱でした。

市民の皆さまとの対話の中で、「保育園でのおむつ回収」

## 新政クラブ

唐澤千明・二瓶裕史

新政クラブは、素心クラブと

ともに新潟県十日町市および津南町を視察しました。十日町市では、大地の芸術祭について、脱炭素・循環型社会の推進事業、使用済みおむつの燃料実証施設について、それぞれ担当者から説明を受け、また現地施設を見学させていただきました。

津南町では、中高貫校、農業政策、小水力発電について視察

をしました。その他、議会改革や地方財政に関する研究書籍を購入しました。



使用済みおむつの燃料実証施設 (視察先の十日町市)

## 日本維新の会

三石佳代

鳥獣対策についての調査研究を行いました。伊那市横山、辰野町川島区、宮田村で、二ホンザルのGPSによる群れ管理の状況説明をお聞きし、伊那市と辰野町では猟友会代表者、市役所職員と共に現地視察を行いました。

山ノ内町で、ユネスコエコパーク日本初の認定地域である志賀高原と核心地域、緩衝地域の歩みについて行政視察を行いました。

## 特別委員会1年間の活動報告

### ◆議会改革 特別委員会

地方自治体は、議員と執行機関の長である市長などを、直接の選挙で市民の皆さまが選ぶ「二元代表制」をとっています。これは市民の皆さまの願いを市政に反映させるための、相互に公正で円滑な自治体運営を行うための制度です。

市議会は「議会基本条例」を定めて、これまでも「市民と議会との意見交換会」の実施、「請願陳情」の改善など、市の建設実施時期の早期議会の改革を進めてきました。

現在、議会改革特別委員会は、この取組みをさらに充実させるために、「議会からの政策サイクル」の構築など、一層の議

会改革のための活動を進めています。ために、上流域においてダムによる治水能力を強化する上での戸草ダム

### ◆道路・戸草ダム 問題等特別委員会

昨年3月の定例会で、研究を進めています。

また、伊那バイパス、環状北線、国直轄の伊駒アルプスロードなどの幹線道路整備が市民生活に及ぼす影響、そして住民福祉の増大のために

議会が対応すべきことについて、調査研究を行っています。



認定地域特有の教育や観光事業への取組み、自然との共生についてお聞きしました。今後の伊那市での活動に活かします。